

「コロナ禍と巣ごもりの過ごし方」

2020年1月20日、横浜港から日本一周クルーズに出発するダイヤモンド プリンセス号 (DP 号) に乗船する友人夫婦 (カナダ在住の日本人でこのクルーズに参加するため、エアーカナダ航空で前日、カナダのバンクーバーから成田に着き、横浜港から乗船するために来た。) と横浜中華街で会食した。

この日は、いつになく大きめのスーツケースを引っ張って歩く外国人の姿が目についた。(後から考えると、DP 号の乗客たちの寄港地での自由時間の散策だったようだ) この DP 号が横浜港に再入港したときから、日本でのコロナ騒動が始まる。

約2週間のクルーズ中に友人夫婦はコロナに感染し(軽症だった)、横須賀自衛隊病院に移され1ヵ月以上隔離され、辛い、苦い体験をすることになった。

私としては、友人には同情したものの、会食したときは彼らが DP 号に乗船する前でコロナ感染者でなかったことにホッとしたものでした。

その後、コロナの感染拡大とともに、4月に第1回目の緊急事態宣言が発令され、都道府県をまたぐ移動が制限されるなど、人生初の経験におっかなびつくりの日々を過ごしました。一度は落ち着きを見せたコロナも、11月には全国的に再拡大の兆候を見せ、明けて2021年1月7日には第2回目の緊急事態宣言が発令され、首都圏では幾度も解除延期を経験し、外出自粛の巣籠り生活を強いられることになり、誰かの発言「時間が余れば・・・」ではないが、余り過ぎて暇で不自由な毎日を悶々と過ごしました。

この頃に、巣ごもり生活をどう過ごそうかと考え、思いついたのは「プランター菜園」でした。

4月には第3回目の緊急事態宣言が発令され、ますます不自由な毎日を過ごすことになり、プランター菜園に気持ちが動きました。

5月になり、CAINZ (ホームセンター) へ行くと、いろいろな野菜の苗がごちゃごちゃと並んでおり、素人でもたやすく、甘くておいしいミニトマトが収穫できると書かれた表示板を見つけました。後先を考えず、深さ 30 cm、25L のプランター4 個と野菜の土、「おいしい野菜を育てる肥料」を買い、その日のうちにプランターに土を入れ、日当たりがよい場所に配置し、プランター菜園、準備完了?

翌日、ミニトマトの苗(「甘〜い、赤いアイコ」と「黄色のアイコ」、「中玉トマトの赤」、「黄色の中玉トマト(黄金のミニトマト)」)を購入し植え付けた。

植え付け方は「野菜の土」のビニール袋に書いてある方法のとおりに行い、追肥や水やりも袋に書かれてある方法を順守した。

支柱は自己流で苗が成長するにしたがって追加していったので、トマトの木をがっちり取り囲むようになってしまった。(こんなやり方で大丈夫かなと思いながら・・・)

6月には、時期遅れのキュウリ、なす、ゴーヤの苗を2株ずつ買い足した。ツルもの野菜のキュウリとゴーヤを植え付けたプランターには2階のベランダからネットを垂らして括り付け育てました。

植え付けから苗は大きくなるものの、1ヶ月経ってもなかなか花も咲かず、実を付けず、これは失敗かなと思っていたが、7月になると花が咲き実を付け始め、8月には収穫できるようになり、ミニトマトは毎日ボールに一杯になるほど収穫できるようになった。



このころは、毎週、近くに住む子供たちの所へ孫の弁当の「おかずの色どり」用にと30cm角のジップロック一杯、届けられるほど獲れました。ひと月もすると飽きられてもう要らないと断られましたが・・・

これらの野菜作りで学んだこと

- ① ミニトマトは夏の暑い盛りには採れすぎるほどだが、9月に入ると実はなるものの色づきに日にちがかかる。(外気温が色づきに影響する?) 1週間経っても色づかなくなったら、実をたくさんつけていてもあきらめて次の野菜の栽培に移る。
(1週間で色づかなければ、2週間経っても色づかず収穫できない)
- ② どの野菜も苗が成長し、しっかり根を張るまでは水やりを多めにする。プランターの底の水抜きから水が出るまでを目安にした。
- ③ キュウリとゴーヤは昼間葉が萎れていても、夕方にたっぷり水をやると翌朝にはシャキッとなり、実は一晩で1~2cm育つ。
- ④ 追肥は粒状のものより、薄めて使う液肥(価格は張るが)を与えると育ちが速く、実なりも早い。
- ⑤ プランターでは雑草取りの手間がかからない。(ほとんど生えない)

9月中旬、ほうれん草と絹さやの種を別のプランターに蒔き、毎日水をたっぷり与えて発芽するのを待ちます。この間にトマト、キュウリ、ゴーヤのプランターは土をブルーシートに広げ、陽に当てて乾いたらふるいにかけて、土中に残った細かい根やカナブンの幼虫の根切り虫を除去し、次の野菜を植える準備をします。

今(11月)は、ほうれん草と「鈴なりパプリカリりん」が育って食べています。



ほうれん草



鈴なりパプリカリりん

また、絹さやが芽を出したので苗をプランターに移しました。来年の春には収穫できる予定です。



冬の霜害防止対策での笹を裏山から取ってきて苗の周りにさしました



絹さやとプランターの傍の空き地に地植えしたスナップエンドウ

10月初めに植えたキャベツとブロッコリー苗のプランターも立派に育っています。野鳥が食べに来るので要注意です。(防鳥ネットをかけます)



キャベツとブロッコリー
ブロッコリーの葉が光っていますが、枯れてはいません



青虫に葉を喰い荒らされたキャベツ (割りばしでつまんで6匹の青虫を駆除)



野鳥がブロッコリーをついばみに来る

※栽培にかかった費用

プランター (6個)、野菜の土 (100L)、肥料等で約10,000円
苗は適正時期を過ぎたものは100円以下、オンシーズン物で1株300円程度
ほうれん草とさやえんどうの種はJAバンクにおいてあり、無料でもらえました。

もちろんスーパーで買った方がはるかに安いですが、巣ごもり時のストレス解消と、豊作時(?)の満足感は悪くはありません。